

減災ニュース

和田三丁目東町会 減災プロジェクトチーム 情報 15

ちょっとだけ地震対策

新聞やテレビで大震災のやってくる確率や被害想定が大きくとりあげられています。「いつかは地震がおきるだろうけど、その時はそのとき。たぶん自分だけは助かるのでは。」という根拠のない期待や、「いつ来るかわかんないのに対策なんてめんどくさい」と思っているあなたに、区の無料サービスなども活用した「ちょっとだけ地震対策」を提案いたします。

大地震が必ず起こるのであればどんな対策をとればいいのでしょうか。まずは地震発生時に生きのびる事、大けがをしない事が重要です。避難グッズは生きのびた後の次のステップですね。建物の耐震工事は非常に有効ですが、お金もかかります。「ちょっとだけ地震対策」としては、家具の転倒防止対策をお勧めします。これならコストもあまりかかりませんし、ホームセンターに器具も沢山売っていますね。首都直下型地震では、超大ざっぱな推定ですが±20cmの揺れがあるとも言われています。±20cmなら振れ幅は40cm。これでは箆箆もテレビも冷蔵庫も全部ひっくり返るのは当然ですね。家具の下敷きにならないためには、転倒防止対策が絶対必要だと思います。

地震対策に100%を目指すのは無理というもの。ならば居直って、ちょっとだけ地震対策をしてみませんか。少しのコストと少しの手間で家族の安全度が多少でも高まるのなら安い投資です。それによりあなたは家族の信頼を得て、家庭における地位は飛躍的に高まるでしょう(たぶん)。

どの家具にやればよいか まず、寝室。1日の1/3は寝ていますし、寝ている間は無防備です。次は家族の集まる食堂や居間など。このタンスは倒れても下にいる可能性は薄いなどというところは後回し。家族が下敷きになる可能性の高い家具をピックアップしてください。全部の家具を固定するのは大変です。ご家族と相談しながら、必要最低限をめざせば始めやすいのでは。転倒防止器具の買出しに半日、取付け半日で「ちょっとだけ地震対策」は完了です。以下区の無料サービスなどをご紹介いたします。

家具転倒防止器具取付サービス(無料) 65才以上のみの世帯の方を対象に、3か所まで無料で器具提供から取付までやっていただけるサービスです。取付は大変だな、と感じていらっしゃる方には大変有難いサービスですね。災害時要援護者名簿に登録されている65才以上のみの世帯の方には、さらに充実したサービスも提供されています。詳しくは下記へお問い合わせください。

◆保険福祉部高齢者在宅支援課管理係 03-3312-2111 (代表)

間柱センサー貸出し(無料) 壁の下地の補強材を見つけてくれる器具の貸出です。L字金具などのねじ止めに大変便利な器具です。ご自分で器具取付までできるかた向け。

◆危機管理室防災課 03-3312-2111 (代表)

建物の耐震化支援事業 耐震アドバイザー派遣(無料)、簡易診断(無料)、精密診断(有料・助成あり)、耐震改修工事助成、など区より各種の助成が受けられます。

◆都市整備部まちづくり推進課耐震改修担当 03-3312-2111 (代表)

減災ニュースに関するご要望、お問い合わせ 松尾 03-5932-0083

町会HP <http://members3.jcom.home.ne.jp/wagamachi/>